

はこだてし 函館市

函館市（はこだてし）は、北海道の南部に位置する市。北海道内では旭川市に次ぐ第3の人口を有する。漁業（港湾）と観光の町。

函館市 はこだてし	
地方	北海道地方
都道府県	北海道 渡島支庁
団体コード	01202-5
面積	677.92km ²
総人口	284,967 人 (住民基本台帳人口、2009年6月30日)
人口密度	420 人/km ²
市の木	おんこ（いちい）
市の花	つつじ（やまつつじ）
他のシンボル	市の鳥：ヤマガラ 市の魚：イカ
函館市役所	
市長	西尾正範

道内では比較的温暖な気候で温帯に属し、陸・海・空の交通の要衝として、また、道南地方の行政・経済・文化の中心として発展した。

函館の由来 古来、この地はウスケシ（宇須岸）と呼ばれていた。1454年（享徳3年）、南部氏との戦いに破れた津軽の豪族・安東政季を擁し、武田信広らと共に蝦夷地に渡った河野政通が、函館山の麓（現在の弥生町付近）に築いた館（「宇須岸館」とも「河野館」とも呼ばれる）が箱に似ていたため箱館と呼ばれるようになり、明治時代になって函館と改められたとされるが、諸説ある。

経済 近海の豊富な水産資源を活用した食品加工業が盛んである。イカソーメンやイカの塩辛・燻製など「イカの街」としてのイメージを全国的に広げようとしている。イカは市の魚にもなっている。また小樽市とともに北海道を代表する「鮭の街」としての自負もある。

歴史

- 1859年 日米修好通商条約により、日本初の国際貿易港として開港、外国人居留地が設置される。
- 1864年 五稜郭竣工。新島襄海外脱出。
- 1868年 戊辰戦争後期、榎本武揚らが箱館を占領。蝦夷共和国を宣言。五稜郭を拠点とする（箱館戦争）。
- 1869年 箱館から函館に改称する。
- 1988年 青函トンネルが開通する。



気候

夏の平均気温はむしろ札幌より低い。また、降雪量も少ない。このため函館はとても過ごしやすい気候の都市であり、日本では珍しい西岸海洋性気候(気候区分 Cfb/c)に分類されることもある。